

令和4年度 大阪府立桜塚高等学校 第1回 学校運営協議会

令和4年 6月 10日 (金)

会議室 図書室

校長

委員 武庫川女子大学副学長、豊中市立第三中学校校長、
大阪府立桜塚高等学校 PTA 会長、豊中市地域教育協議会会長、
尚和会会長、桜援会会長、

事務局 教頭、事務部長、首席、指導教諭、教務主任、生徒指導主事、自治会部長、進路指導主事、
保健部長、各学年主任、書記

1 校長 挨拶

校長 過去二年間、書面開催であったが、対面で開催でき、少しずつ今までの生活に戻りつつあるのを
実感している。桜塚高校は、地域や社会とのつながりを大切に活動していきたい。

准校長 生徒 153 名。教員一丸となって頑張っている。定時制の強みを発信していきたい。学校運営に
関するご意見をいただき、生かしていきたい。

2 委員紹介及び事務局員紹介

省略

3 実施要項他について

資料1 学校運営協議会 実施要項

変更点 第7条

「委員は6年を超えて任用してはいけない」→「委員の任期は2年とし、再任は妨げない」

4 会長・副会長の委嘱

会長：武庫川女子大学副学長

副会長：豊中市立第三中学校・校長

5 報告

(1) 令和3年度学校経営計画

資料2 令和3年度 学校経営計画及び学校評価

校長より 昨年度第三回の会議において、経営計画・評価に関して申し上げたので、
説明は割愛する。スクールミッションにおいて参考までに。

(2) 令和4年度学校経営計画中期目標について

資料3 令和4年度 学校経営計画及び学校評価

桜塾と働き方改革を推進したい。

・働き方改革

ICT 機器を利用し、朝の遅刻欠席連絡や会議資料をオンライン化している。教員の負担を減らす。

資料説明については(1)と同じ

(3) 令和5年度教科用図書選定について

資料4 教科書選定・採択の仕組み

小・中は教育委員会が採択するが、高等学校においてはそれぞれの学校に対応した教科書を学校ごとに選定している。生徒のために一番良い教科書を教員が選ぶ仕組みである。このことについてご意見があれば。

→特になし

(4) その他

【桜塾(有料講座)実施要項】 **資料5**

今までも行っていたが、今年度から英検に特化した講座になった。191名が参加している。

準1級、2級、準2級に向けての受講が可能。

講座のランクを途中変更することは可能。

英検に特化させたことによる効果はあったと思われる。

定時制との施設使用に関する調整に苦労した。

【行事予定表】 **資料6**

コロナが落ち着いてきていることもあり、コロナ以前の予定に順次戻している。

体育祭は実施され、桜花祭、修学旅行を実施する予定にしている。

学校説明会については実施形式を変える。

→在校生に学校案内や部活紹介をさせる(オープンスクールに名称変更)。

学校説明会については、一部の教員でやっていたものを、みんなで取り組むという形に変える。

ご意見

・在校生からの説明は良いと思う。学校の雰囲気もわかりやすい。

【スクールミッション→スクールポリシー】 資料4

グラディエーションポリシー

→この学校がどういう力を育成するのか

カリキュラムポリシー

→身につけさせたい力についてどのようなカリキュラムにするのか

アドミッションポリシー

→どのような生徒に入学してほしいか

この3つのスクールポリシーの元となるスクールミッションを決める（公表される）。

「どのような高校であるか、どのような生徒を育てるか、教育の方針、具体的な教育内容」を、これからの生徒たちにどのような教育をするべきなのかを学校運営協議会のご意見もいただき、参考にして策定していきたい。次回会議にて案をお示しして策定を進めたい。

ご意見：

- ・大人が考えていることと、生徒の受け止めに齟齬がないようにしたい。
- ・アドミッションポリシーに基づいた入試がされているのかといえば、難しい。
- ・高校において、どこまでの決定権限が各学校に与えられるのか。アドミッションポリシーを設定するのであれば、その実態に応じた入試方法なのかを問われるのではないかと。本校独自の選抜基準を設けることが許されるのであれば、それに沿って決めていきたい。
- ・学校を受験するための指針になる。ポリシーに沿っており、点数が伴わない受験生への対応はどうするのか。
- ・府としてどれほどの熱量ですべきだと考えているのかを聞いてほしい。
- ・子どもの多様性を受け入れるための方策だろうが、どれほど学校が対応できるのか。
- ・桜塚の場合、伝統（今まで培ってきたもの）を大切にすれば、新しいものを設定しなくてもいいのではないかと。
- ・地域に根ざした、グローバルな人材の育成を目指すために、どのようなミッションにするか。
- ・カリキュラムマップ（1年→2年→3年と、これまでの学びがどのように繋がっているのかというマップ）を作って検討するのも良いのではないかと。
- ・生徒にこんな人間になってほしいという思いをまとめてみては。

【国際交流】

コロナ禍において、交流は少なくなった。オンライン交流は続いている。

今年度は4人の留学生が来る予定。いずれは対面で交流したい。

留学に向けての支援金がもらえたので、3月に行けるように調整中。

海外の大学に進学した生徒もいる。

【コロナ対応について】

学校でもコロナ陽性者はいる。軽症である生徒が多いが、後遺症に苦しむ生徒の対応をしていきたい。
手指消毒をしているのか？→各教室に設置している

【大阪ゆめ基金】

今年度から新たに始まる取り組み。

教育活動に賛同する方々からの支援金。桜塚が何かをしたいということを HP に掲載し、賛同する人が金銭的に援助するというシステム。

ご意見

- ・長期にわたって改善されないところがたくさんあるので、これを利用していくべき（トイレや体育館の椅子等）。
- ・寄付した人にとっても達成感があるので、良いと思う。

【その他ご意見】

- ・ヤングケアラーについて対応してほしい。

該当者はいますか？

→アンケートにおいて該当者はいなかった。

本人が当たり前だと思っていたら、見つかりにくい。本人の意思がどうかによって、判定することになっている点が問題である。「まわりにそういう友達がいらないか」と聞いてみるのも良いかもしれない。

- ・一人一台端末において、ネット上でのいじめや誹謗中傷が起こると想定される。
その対応をきちんとしておいてほしい。
- ・成人年齢引き下げに伴い、有権者教育をしてほしい。投票をすることによって社会の一員としての自覚にもつながる。最初の投票は大事だと思う。
→有権者を前にしての授業には対応が難しい面もある。具体的な内容は授業では取り上げにくいこともある。
- ・保護司会の歌を、軽音楽部に依頼していた。
7月16日（土）にお披露目予定。CD 作成もする。

次回（第2回）予定 10月 14日（金） 14：30 ～